

## 11月にオープンハウス -デジタル機 11機種を展示-

ミヤコシ(宮腰巖社長)は、最新のデジタルプリンター11機種を展示するオープンハウスを11月27日から29日まで、千葉県八千代市の同社POD事業部クリーンルームで開く。ドルツパ出展機や初出展機をそろえ、デモンストレーションをする。

ドルツパに出展した液体トナー方式電子写真プリンター「ミヤコシ・デジタル・プレス 8000」はB2サイズ、解像度とは1200dpi×1200dpiで、印刷速度は最高8000枚/時、バージョンアップで10000枚/時に対応できる。独自の転写ロールを使用した「静電プラス圧力」転写で、オフセット印刷に近い高品質なバリエブル印刷を実現。圧胴式グリッパ用紙搬送システムの採用で、見当精度を高めた。

同じくドルツパに出展したフルカラーインクジェット(IJ)プリンター「MJP20MX-7000」は最大8色印刷が可能で、印刷速度は1200dpi×1200dpi時で160m/min、1200dpi×600dpi時で320m/min。新開発のインクでフィルム、タック紙、コート紙などさまざまな用紙に印字できるようになり、最大吐出量の低下でインクジェット専用紙でなくてもにじみや裏抜けを起こさない。コストメリットが高い水性染料インクも選択でき、顧客ニーズに柔軟に対応できる。

初出展は4機種。ラベル用フルカラーIJプリンター「MJP13LX-2000」は13インチ幅、1200dpi×1200dpiで最大8色印刷が可能。ラベル用としては最高域の印刷速度50m/minで生産性を確保し、水性顔料インクの採用でランニングコストを低減した。

フルカラーIJプリンター「MJP20EX-6000」はワンタワー型のエントリーモデルながら、1200dpi×1200dpiで最大8色印刷が可能。小ロット多品種対応に適している。

LWD-UV採用スリーブ式オフセット印刷機「MHL13A-3000」は高い印刷品質と準備時間の短縮、環境配慮を実現。バリエブルでの印刷と加工をインラインで実現できるレーザー加工機「MSP13A-1000」は、さまざまなパターンのバリエブル加工を実現する実力をアピールする。

このほか、フルカラーIJ機とインライン接続可能な新聞加エライン「フンケラー(POPP7)」、フルカラーIJプリンター「MJP20F」、LED-UV対応フルカラーIJプリンター「MJP20W」、液体トナー方式電子写真プリンター「ミヤコシ・デジタル・プレス 5000」、ワイドフォーマット対応シリアルプリンター「TXP18A」も展示する。

(2012年09月28日 新聞之新聞社 掲載)